

2012年8月23日

各位

DAIKYO 株式会社大京

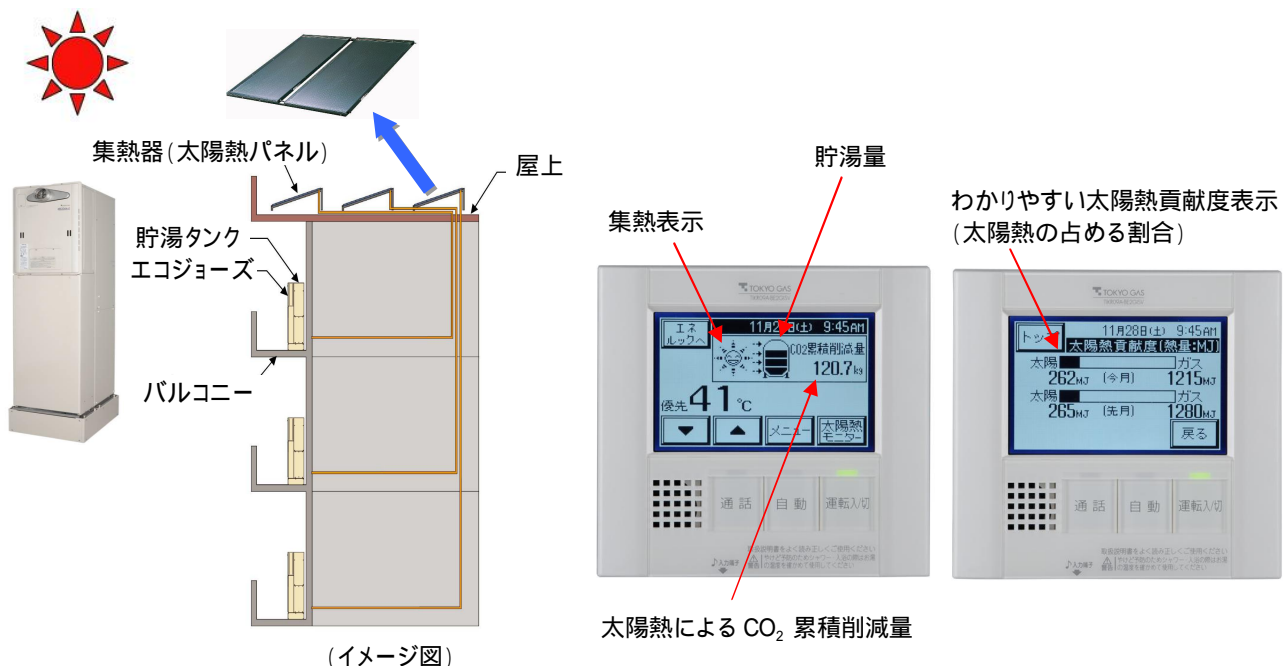
**平成 24 年度経済産業省補助対象事業
「再生可能エネルギー熱事業者支援対策事業」の補助対象事業者に決定
～ 太陽熱を利用した屋上設置型戸別給湯システムを集合住宅で全住戸初導入～**

株式会社大京（本社：東京都渋谷区、社長：山口 陽、以下「大京」）は、経済産業省資源エネルギー庁の「再生可能エネルギー熱事業者支援対策事業」に応募しておりましたが、このたび一般社団法人新エネルギー導入促進協議会の審査を経て、補助対象事業者に決定したことを受け、太陽熱を利用した屋上設置型戸別給湯システムを導入した分譲マンションを事業化することといたしましたので、お知らせいたします。

大京では従来より先進的な技術や商品を導入し、環境に配慮したマンションの供給に力を入れておりますが、このたび採択された事業は、東京都練馬区に現在計画中の「練馬共同住宅プロジェクト」に導入予定の太陽熱を有効に利用した「屋上設置型戸別給湯システム」に関する取り組み事業です。本物件では、日本で初めて、屋上に戸別の集熱器（太陽熱パネル）を設置し、各住戸の貯湯タンクにお湯をためるシステムを、集合住宅の全住戸に導入しました。

このシステムは、東京ガス株式会社（本社：東京都港区、社長：岡本毅、以下「東京ガス」）より、2012年4月に発売された集合住宅向け戸別パネル屋上設置型「太陽熱利用ガス温水システム『SOLAMO（ソラモ）』」で、高効率熱源機エコジョーズと組み合わせることで、1戸あたり約28,500円/年（1）のランニングコストが削減され、また、従来給湯器と比べて年間340kgのCO₂が削減され、環境対策にも大きく貢献するシステムです。

太陽熱戸別給湯システム概要



屋上の集熱器 (太陽熱パネル) とバルコニー設置の貯湯タンクが 1 対 1 の関係となっています。

住戸内のリモコンにより、太陽熱利用によるガス代と CO₂ の削減量が確認できます。

同システムの提案により、当社は2012年8月1日に、経済産業省資源エネルギー庁が一般社団法人新エネルギー導入促進協議会に委託している事業である「再生可能エネルギー熱事業者支援対策事業」の補助事業対象者に決定し、補助対象経費のうち、補助率3分の1を限度に補助金が受けられることとなっております。同事業は、再生可能エネルギー（2）の熱利用導入事業者を補助事業対象者として支援するものです。

- (1) 試算条件：従来型熱源機を使用し一般料金を適用した場合と、本システムを南向き仰角5°に設置し家庭用ガス温水床暖房契約エコ割（東京地区等）を適用した場合との比較、家族3人、80㎡集合住宅居住（RC構造）での東京ガス試算例。電力駆動ポンプの電気代含む。年間負荷は、給湯13.7GJ、風呂保温1.52GJ、床暖房8.72GJ、コンロ1.8GJ。ガス料金は2012年3月8日時点の平均原料価格に基づく。但し、ご使用量によりランニングコストの削減額は異なります。
- (2) 再生可能エネルギーとは、(1) 太陽熱利用、(2) 温度差エネルギー利用、(3) バイオマス熱利用、(4) バイオマス燃料製造、(5) 雪氷熱利用、(6) 地中熱利用

「練馬共同住宅プロジェクト」の物件概要(予定)

- ・所在地：東京都練馬区
- ・規模：地上4階建て
- ・総戸数：61戸（住戸）

当社の取り組み

当社は、多くの方に住まいを計画し提供する立場として、2020年に温室効果ガス排出量の1995年比25%削減の政府方針に基づき、建築物(ハード)とさまざまな環境対策を取り入れた地球に優しい住まいづくりの形成に向けたサービス(ソフト)の構築に積極的に取り組んできました。2011年度には、これまでの「集合住宅における低炭素社会に向けた先駆的な取り組み」が評価され、社団法人日本不動産学会（所在地：東京都千代田区、会長：三橋博巳）の業績賞を受賞しています。

今後も、創エネシステム（太陽光・太陽熱・地中熱等）や蓄エネシステム（蓄電池等）を積極的に導入し、業界に先駆けた取り組みを推進します。

「私たちは、グループの力をあわせ、あらゆるライフステージに応える住まいとサービスを提供し、『住文化』の未来を創造する」という経営理念のもと、上質な住まいの提供と新たな提案に努めてまいります。

以上

このニュースリリースに関するお問い合わせ先
株式会社大京 広報室（飯田、今福） : 03-3475-3802